ルビの大きさを一括して変える方法

ルビが小さすぎて見えにくい。もう少し大きくできないか、と思ったとき、一括してルビの大きさを 変える方法があります。

下はルビがふられた原文です

記案義時は1163年、伊豆の国市注
龍地区生まれ。
交・記案時酸、毎・伊東氏の
鍵 (名前は常明)の次第とされる。
注
龍小函郎、
注
龍函郎とも呼ばれた。
次第なのに、
函郎と 呼ばれた
避
晶は
常明。
交・時酸が
応郎と呼ばれていたことにちなんだ
名前と
考えられてい る。↩

難篤が得意だったとされ、芾芮に類若も残る小嵩い笠「苫の馬塲」(伊壹の国市常注蕳) で練習していたと伝わる。辛洛の訛に些族が敗れて壁ヶ島(為野川の笹州だったと考えら れる場所)に蓜添されていた隙、賴、朝と婦・鼓字が結婚。また、「額、賴、朝と平氏芳の戦 「若穚笛の戦"い」(1180年)で、梵・榮蒔が詩苑。こうした経緯から蒙督を継ぎ、父・ 蒔鼓と行勤を共にした。↔

AI++F9を押すと、フィールドコードが表示されます。

 ${EQ}$ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a>0,a>0}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),義)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),年)}は1 1 6 3{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),年)}、{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),年)}、{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),年)}、{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,b}$),年)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),国市)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),国市)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),国市)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),地区)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),地区)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps10 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{a,c}$),北条)}

ルビがふられた箇所に「hpsl0」という表示があります。これが現在ふられているルビの大きさ です。5ポイントということになります。これを8ポイントに大きくしたいときは、「hpsl0」を 「hpsl6」に置換します。hpsの数字の2分のlがポイントと考えてよいみたいです。 ワードのホームメニューの「置換」をクリックしてください。

ファイル	т—Б 9у 3	挿入描画	デザイン レイアウト 参	考資料 差し込み文書	校閲 表示 開発 ヘルプ	2			
ッ・ ひ	に 貼り付け 、 ダ	MS明朝 B I <u>U</u> ~	$\begin{array}{c c} \bullet & 10.5 \\ \hline \hline \bullet & 10.5 \\ \hline \hline $		· ;= • ;= • = = = ☆ • = = = = = = = • ♪ •	A↓ →← 	標準 行間	詰め 見出し1 ■	
元に戻す	クリップボード い	i	フォント	Гэ	段落	Б	<u>ک</u> ې	าน ธ	1 編集

下のような画面が出てきます。

検索と置換		? ×
検索置換	ジャンプ	
検索する文字列(<u>N</u>):		~
オプション :	あいまい検索 (日)	
<mark>置換後の文字列(I</mark>):		~
オプション(<u>M</u>) >>	置換(R) すべて置換(A) 次を検索(F) キ	キンセル

検索する文字列に「hpsl0」(半角で)、置換する文字列に「hpsl6」(半角で)を入力し、 すべて置換をクリックします。

検索と置換	? ×	
検索置換	ジャンプ	
検索する文字列(<u>N</u>):	hps10	
オプション :	あいまい検索(日)	
置換後の文字列(<u>I</u>):	hps16	
	- Û	
オプション(<u>M</u>) >>	ぜ 置換(<u>R</u>) すべて置換(<u>A</u>) 次を検索(<u>E</u>) キャンセル	

下のような画面が出てくるので、OKをクリックしてください。

検索と置換		? ×
検索置換	ビィッジ	
検索する文字列(<u>N</u>):	hps10	~
オプション :	あいまい検索 (日) Microsoft Word ×	
置換後の文字列(<u>I</u>):	hps16 i 完了しました。78 個の項目を置換しました。	~
オプション(<u>M</u>) >>	OK 次を検索(E) キ	マンセル

フィールドコードが次のように変わります。

¥o¥ad(¥s¥up 9($_{w,r}$),伊豆)}の{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{c}$),国)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),市)}{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),南江間)}) で{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:M S 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),練習)}していたと{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),練習)}していたと{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),(G)}わる。{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}わる。{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}わる。{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}わる。{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れて{EQ ¥* jc2 ¥* "Font:MS 明朝" ¥* hps16 ¥o¥ad(¥s¥up 9($_{v,r}$),G)}か敗れ

再び、AI++F9を押すと、元に戻ります。ルビが大きくなっています。 電じ気? 義 諱 は1163 犂、伊萱の盆市注着通过主れ。 狡・ 宅じ気? 諱 蔎、 響・ 従 武氏の なん (名話は発明)の 茨 まされる。 注意小 品前、 注意 一 品前、 どう なのに、 」 「話と声ばれた 望着は 茶萌。 狡・ 詩 蔎 が 」 話を声ばれていたことにちなんだ 名話 と かきがえられている。 4